

## 東日本大震災 いま考え できること

復興に向けた  
デザイン・教育の取り組みは?

がんばろう、いばらき!

国内観測史上最大、その被害は甚大で自然の猛威になすすべもなく、あわせて原発事故の発生。この未曾有の国難において、茨城県も被災地となりました。幸い弊社では、職業訓練校として使用していたリリーグループの校舎に大きな損傷がありませんでしたが、震災時にいた62名全ての訓練生、弊社スタッフは全員無事でした。

一方で、東北地方を中心に地震と津波で多くの方々の尊い命が失われ、被災した方を考えると、言葉もありません。そして、この原稿を執筆している今、茨城県では、電気や水道、ガソリンなどライフラインの多くはほぼ復旧しつつありますが、未だに約千人の方が避難所で生活しています。(4/4 茨城県 Web サイト 茨城県災害対策本部より)

これまでとは違う  
変わるうとしていく価値観

弊社では、震災から営業を再開した3月22日まで、復旧作業をしながら、「なんとかしなければ」「がんばろう!」とスタッフ一人ひとりが意識し、みんなで協力することができました。

まずは、身のまわりからできること。震災を機にいまやれること。日本中の人たちの価値観が、同じ方向を向き始めたと思います。そして、着実に一歩づつ、前を向いて、社会が動き出したことを実感しています。

弊社が所属するリリーグループでは、まず、言葉の力で地域が明るくなれるよう、復興の願いを込めたメッセージをグループ全部門の建物に掲げました。これは、単なる「呼びかけ」ではなく、私はあなたのため、に何ができるのか? このメッセージを私たちが含めた全ての人が意識し復興に役立てよう、という想いが込められています。

復興への願い

震災前の世の中は、不景気を理由に、様々な問題がありました。これから私たちがすべきことは、相手の立場に立つた思いやりが育つ日本にすること。

震災から三週間が経ちました。原発事故の影響をはじめ被災による経済状況の悪化など、私たちを取り巻く不安要素はたくさんあります。それは、クライアントであるお客さまも職業訓練校の生徒もみんな同じ。だからこそ、私たちは、明るくたくましく、前を向いて進みます。

地域や社会が一日でも早く復興できるよう、私たちは、デザインと教育を通じて、これからも皆さまとともに、一緒にがんばります。

桜前線が北上し

水戸も梅から桜の季節へ。  
春を迎えて、  
笑顔でこれからも。



## いばらきの漁業を応援しよう!

### 「いばらきの地魚取扱店認証制度」のプロモーション

茨城県の漁業にも甚大な被害をもたらした今回の大震災。甚大な被害がありましたが、漁業関係の方々には復興に向けてがんばっているところです。

文化メディアワークスでは、「いばらきの地魚取扱店認証制度」の広告プロモーションに携わり、今年で丸4年経ちました。茨城県はもとより関東、東北地方の漁業をはじめ流通業、加工業、販売業が一日でも早く復興することを願ってやみません。

パンフレット      ポスター

Web サイト: 「いばらきの地魚」で検索

@ibarakijizakana      フォロー&ツイートして応援してください!